

## 『ふくしのまちづくり講座』特集号①

### 「ふくしのまちづくり講座」とは?

「ふくしのまちづくり講座」は、校(地)区単位で講座を開催し、参加者が改めて地域のことを学んだり、活動者との交流を行うことにより、地域福祉活動(ボランティア)への関心を高めてもらうことを目的としています。また、これらを通して、地域で活躍していただける新たなボランティアの発掘を図る講座となっています。

#### 1. 小倉北区・富野校区

### 『富野です〜っと暮らしたい!』 〜広げよう! おたすけ・おせっかいの輪〜

富野の小文字園地区に芽吹いた助け合いの輪をしっかりと根付かせ、校区全体に広げたいため、助け合いのまちづくりを焦点に当てて研修を開催した。先進地域の方々を招き、取り組みについて学んだ。支え合いの重要性についても理解が深まり、「これからの自分たちの活動の参考になった。」「町内での助け合いが大切なので、近所の人達を今よりもっと知りたいと思った。」と前向きな声を多くいただいた。今回の学びを活かして、小さな輪から少しずつ、助け合いの輪を広げたい。



#### 2. 小倉北区・中島校区

### 『ず〜っと中島で暮らしたい!』 〜住みなれた地域でつくる心ゆたかな暮らし〜

歳をとっても、住みなれたまちで、健康で、いきいきと暮らすために「今からできることを一緒に考え、実践したい」との思いから、この研修が開催された。ふれあいネットワークの講義では、クイズを交え、地域活動の必要性や小さな親切で繋がりをもつ大切さを学んだ。次に、グループワーク中心に「否定しないで相手を受け入れる思いやりの気持ちの大切さ」をコミュニケーション術で学んだ。そして最後は地域の方に出演していただいた寸劇を取り入れ、地域福祉権利擁護事業・成年後見制度について学んだ。今回の研修で、これからの超高齢社会に向けて『みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり』のために一人ひとりに何が出来るのかを考える良い機会となった。



#### 3. 八幡西区・八里校区

### 『よりよい八里を目指して』 〜これからの八里を考えよう〜

まずは、ふれあいネットワークの基本を学び、自分達の地域の活動や課題、今後の希望をグループワークで話し合った。また、他校(地区)の活動事例を知る事で情報や課題、想いを共有し、今後の方向性を考える機会となった。同じ校(地)区内でも地域によって実情が違い、活動内容で悩むことがあるかもしれないが、そんな時こそ皆で話し合う事が必要となる。併せて幸せな人間関係を築くための対話のヒントも活動に役立てていきたい。



#### 4. 戸畑区・浅生地区

### 『みんなで作ろう!』 助け合いのまち 浅生

住民一人ひとりの安全で安心な暮らしを守るために全3回の研修を開催した。浅生のまちの良い点、悪い点をグループで話しあい、まちのことを改めて考え、気付きを得る良い機会となった。また、認知症について理解を深め、支え合いの重要性を再確認した。最後は、戸畑リハビリテーション病院の方を招き、医療の観点からフレイルチェックを行い、心身の健康状態を見つめ直し、健康寿命を延ばす大切さを学んだ。住民同士の交流の場にもなり、地域福祉活動の意識づけに繋がった。



### シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」③①

## 活動を通して人を育てる人づくりを目指し続ける

皆様、こんにちは!日頃より市内外で大変お世話になっております「私たちの未来環境プロジェクト」と申します。コロナ禍の中、体調変わりなくお過ごしでしょうか?今は「辛」を抱える時期と共に先を見据える時期でもあるかと私たちは公私共に考えています。

まず最初に当団体の自己紹介をさせていただきます。団体名の由来は→私たち:市内外、老若男女の全ての人、→未来:次世代→環境:自然環境・社会環境・経済環境など。広義ではESD:持続可能な社会、→プロジェクト:何らかの目標を達成する為の計画(キッカケ)からきております。

活動場所は北九州市内が主となり山田緑地・馬島(離島)・中原海岸周辺等です。団体メンバー構成も市内・近郊、会社員から自営業の方々まで男女比率は大体同じで中年層が主です。

活動内容は主に4つ取組んでいます。一つ目は自然観察:生き物とのふれあいと通じて、私たちに自然が如何に大切なものであるかを考えるキッカケづくりの提供です。二つ目は体験活動:清掃活動などを通じて、私たちの未来をより良いものにしていくために何が出来るのかを考えるキッカケづくりの提供です。三つ目は色々な鬼ごっこ&クップ:スポーツ鬼ごっこやクップ(新当てゲーム)を通じて、皆で体

私たちの未来環境プロジェクト

代表 **池本 真一**さん



動かして遊ぶ楽しさを知るキッカケづくりの提供です。4つ目はプログラミング:体験教室などを通じて、これからの時代に必要となることを楽しく学びながら、自ら考え創作するキッカケづくりの提供です。

活動の背景には私たちも含めて世代間問わずコミュニケーション不足・体力低下等が挙げられます。活動を通して他人を思いやる心(利他の心)の醸成・コミュニケーションの促進や健康寿命の増進が図れればと考えています。他人事は自分事・頼まれ事は試され事として捉え筋を通す(プリンシプル)、関わる皆様の長所を見出し内なる力(レジリエンス)が引き出せる活動が出来ればと感じています。

日常生活において私たちを取り巻く自然環境・社会環境・経済環境等は目まぐるしく変化し社会課題も潜在化から顕在化、多様化しています。私たちは老若男女問わず持続可能な社会の実現を目指すキッカケをつくる為、出来る範囲で出来る事から次世代へ繋ぎ、継続・実践していきます。

## 傾聴ボランティア養成講座研修レポート

8月5日、6日に人気講座の1つである「傾聴ボランティア養成講座」を行いました。傾聴とは、単に話を「聞く」ではなく、心を込めて「聴く」ことで相手の心に寄り添うことです。

今回は、例年と違い、コロナ禍での研修開催で、皆様の安全・安心を第一にコロナ対策に努めました。受付時の検温、手指消毒、マスク着用の徹底。また、講義とワークの部屋を2つに分け、用途に応じて部屋を移動してもらいました。講義部屋では、1つの机に1人座りとし、前後左右の間隔を空けるため、互い違いに座っていただきました。対話のグループワークの部屋では、間に飛沫防止のビニールカーテンを設置しました。

受講者の方からは、「色々な配慮のおかげで2日間安心して、受講することができた。」「傾聴の基本を知ることができた。コロナが落ち着いたら活動を始めたい。」「自身の生活にも役立てていきたい。」などのお声をいただきました。Withコロナの生活は、しばらく続きそうです。研修課では、対策を重ねながら、受け入れ側の施設とともに、一日も早く受講していただいた皆様に活動の機会が訪れることを願っています。

